

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2018.07 No.18

東北講演会講演録

七大学・同窓会・
会員作品・会員活動紹介

七大学入学式の情景

学士会・学士会館
ニュース

東北大学
大野英男 新総長が語る!

第57回 七大学戦、
本格始動!

学士会

七大学 入学式の情景



大阪大学

■ 大阪城ホール
▲ 6,406名

平成30年

4/3 火

東北大学

■ カメイアリーナ仙台
(仙台市体育館)
▲ 4,904名



平成30年

4/4 水



九州大学

■ 九州大学椎木講堂
▲ 5,161名

平成30年

4/5 木



名古屋大学

■ 名古屋大学豊田講堂
▲ 4,408名

北海道大学

■ 札幌コンベンション
センター
▲ 4,916名



平成30年

4/6 金



京都大学

■ 京都市勤業館
みやこめっせ
▲ 6,528名

平成30年

4/12 木



東京大学

■ 日本武道館
▲ 7,547名

※入学者は学部生・院生の総数です。

大野英男

東北大学 新総長が 語る!



注目の内容は、3頁からをご覧ください。

今年もアツい!! 第57回 いよいよ 七大戦、本格始動!



航空優勝

東北大学



アイスホッケー優勝

北海道大学



スキュー優勝

東北大学



第57回七大戦（全国七大学総合体育大会）は、冬季・春季の3種目を終えた時点で、東北大学が総合1位です。しかし、このままでは終わらない、終わらせないのが七大戦。6月30日（土）の開会식을皮切りにスタートする夏季競技の結果をどうぞ、お見逃しなく!

今後の競技日程は、18・19頁をご覧ください。

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

7 UNIV.

七大学入学式の情景

第57回七大戦、本格始動!

01

2018.07 NO.18

7 UNIV.

東北大学

大野英男総長に聞く

「“創造と変革を先導する大学”として」

03

7 LECTURE

東北講演会講演録

仙台藩の戊辰戦争

中村 彰彦 (作家)

11

7 UNIV.

七大学情報

七大学書籍ランキング 40

18

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告

25

7 MEMBERS

会員通信

会員著作物紹介・会員活動報告
投稿原稿募集のご案内

30

7 NEWS

学士会・学士会館より

34

7 STAFFs

編集委員コラム

42

JOIN US!

学士会の紹介

表 4



表紙写真…東北大学学友会写真部 4年 柴田純平

「“創造と変革を先導する大学”として」 —東北大学・大野英男総長に聞く—

平成30年4月1日、大野英男氏が東北大学第22代総長に就任されました。
これから6年間の抱負について語っていただきました。

大野 英男 第22代東北大学総長

昭和52年東京大学工学部電子工学科卒業。昭和57年同大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了（工学博士）。北海道大学工学部電気工学科講師、助教授を経て、平成6年東北大学工学部電子工学科教授。平成7年同大学電気通信研究所教授。

その後、東北大学電気通信研究所附属ナノ・スピントロニクス実験施設長、省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長、電気通信研究所長、スピントロニクス学術連携研究教育センター長等を歴任し、平成30年4月より、現職。

人がつながっているのが魅力

—まず、新総長として東北大学の魅力の一つ挙げていただけませんか。

大野 私は東北大学でほぼ四半世紀、教育と研究に携わってきました。その中で感じてきたことは、教員はもちろん、構成員がつながっていて大学全体として教育と研究を進めようという雰囲気があることです。一言でいうと「一体感がある」ということです。学生諸君も一生懸命ですし、事務職員や技術職員の皆さんも、研究や教育を一層前進させるにはどうしたら良いかを考えているので、とても良い環境で過ごしてきました。これが最大の魅力です。

大震災でさらに社会と共にある大学に

—東日本大震災はそういう東北大学にどのような影響を与えたでしょうか。

大野 震災では学生3名が津波により亡くなりました。建物も大きな被害を受け、立入り禁止となるものが幾つもありましたが、関係各位のサポートにより復旧しました。みなさまからの多大なご支援に心より感謝を申し上げます。

海外の大学からも、大学院生に研究場所を提供してもよいという申し出を多数いただきました。私たちは、それまでも社会につながっている大学、世界につながっている大学と思

っていましたが、あらためてそのつながりの強さを実感しました。

一方、地域の受けた大きな被害に対して何か貢献したいという思いで「復興アクション100+」が本学に立ち上がりました。その中には、8つの重点プロジェクトという大きなプロジェクトになったものもあります。

東北大学はそもそも民間の寄付と県の資金も併せて設立されました。建学の当初から“社会と共にある大学”だったのです。震災復興を進める中で、それが各自の胸に刻まれ本学のアイデンティティとして再度意識されるまでになってきたと思います。

建学の理念を生かして、 教育・研究・社会連携の好循環を

——総長としてまずやりたいことは何ですか。

大野 「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」が私たちの建学の理念です。本学の基盤はこの理念の下に111年間にわたって作られてきました。この上に、教育、研究、社会連携の好循環、すなわち深い研究が新たな社会連携をもたらし、それらが教育に反映されて次世代を担う人材が育つ、その人材がさらに研究や社会連携を進める、この循環を、世界を舞台として築いていきたいと思います。この実現には学生や教職員、全構成員の多様な挑戦が必要です。本学の歴史を振り返ってみますと、東北大

学はそもそも新たなことに挑戦する大学でした。これからは、グローバルな現代社会において好循環を築く挑戦をしていきたいと思います。

——東北大学総長として、大野ビジョンをお聞かせください。

大野 私は里見前総長のもとで指定国立大学法人のプランニングにかかりました。指定国立大学法人は、世界トップの大学と伍していくために、2030年までに大学がどのような姿となるべきかを提案するもので、本学は最初の三校に選ばれました。そこで掲げたのが「創造と変革を先導する大学」です。

里見先生は東日本大震災のすぐあとの2012年から6年間、大学全体を元気づけるために奮闘されました。私は、この元気をもとに、学生を含めた構成員がさまざまな方面で、創造と変革に挑戦することができるようにしていきたいと考えています。社会との連携の中で、世界最高水準の優れた研究に取り組むこと自体、もちろん大きな挑戦ですが、これらの挑戦を教職員と学生と一緒に進めるからこそ、自ら未来を切り拓き、変革を先導して、新たな社会を築いていくことができる人材が育つのだと考えています。

——そのために取り組まなければならないことはどんなことですか。

大野 広い意味での構成員のアントレプレナーシップ、この醸成が大切

です。社会との協働を通して、多種多彩な取組に挑戦し、新しい大学の姿を見いだしていきたいと考えています。例えば、東北大学らしい新たなスタイルの産学連携によるイノベーション創出も重要テーマの一つです。私たちは、産学連携で非常にいい先進モデルを持っているので、その仕組みを、分野を超えて広げたいと考えています。

2012年に設置された「国際集積エレクトロニクス研究開発センター」は、東北大学が培ってきた半導体研究を震災後も途切れることなく続けてほしいと寄付をいただき、全額外部資金でスタートしたセンターです。100%民間拠出による施設で、自立運営をしているという意味では、国内でも類を見ない組織ではないかと思えます。海外や国内の大きな会社だけでなく、地元の技術力のある会社も参加し、半導体分野と、私も関わったスピントロニクス分野の研究が融合した、省エネルギーの半導体、集積回路の研究開発を進めています。この分野では世界で最大規模の産学コンソーシアムとなっています。

このセンターの良さは、大学に来ると会社もフラットな関係になるという点にもとづいています。例えば、地元の会社の技術を、規模が何桁も違うような会社の人たちが使ってみるなど、通常では容易にできない、



規模を飛び越えた様々なつながりが生まれています。企業と企業のために「大学 (U)」を挟むことによって、地元の小さな会社でも海外の大きなメーカーと直接話せるなど、新たな広がりができるわけです。私たちはそれを「B・U・B (ビー・ユー・ビー)」の連携と呼んでいます。

材料や測定器、製造装置、設計など周辺技術も含めた総合的な産学連携エコシステムは、産業界から大きな支持を集めています。その証拠に運営資金のほとんどは民間との共同研究費でまかなわれています。このような「B・U・B (ビー・ユー・ビー)」型のプラットフォームを、東北大学が強みを有する他の分野、例えば、未来型医療や材料科学などにも波及させていきます。それによ

って、東北大学らしい“産学共創”を発展させ、イノベーションに寄与し、社会変革を先導していきたいと考えています。

海外の有力大学と連携した教育と研究を

——研究と教育の面ではいかがでしょうか。

大野 教育と研究、社会連携がつながり、相乗効果による好循環を築くと申し上げました。このために進めていくことをお話しします。

本学は入学後に伸びる大学として高い評価をいただいています。その学部および大学院教育を基礎に、今後は、アントレプレナーシップの醸成、社会変革をドライブするであろうAI（人工知能）やビッグデータに関する文理を越えた教育、また学部・大学院生にわたる教養教育を充実させていきたいと考えています。特に文理にまたがる教養は、今後ますます重要になると考えています。例えば私の専門である工学は、目的があらかじめ定まった中で、目的の効率的実現を考えます。しかし、いわゆる文系的素養がなければ、その肝心の目的を定めることができません。また逆に目的を定めるにあたって、理系的素養がなければ適切な検討を進めることはできません。教養は、未来を切り拓くために極めて重要であると考えています。

大学院教育では教育と研究をリンクさせ、海外の有力大学と連携して共同教育を実践すべく、5年以内に10以上の国際共同大学院を創設します。すでに、スピントロニクス、環境・地球科学、宇宙創成物理学、データ科学の4つの国際共同大学院がスタートしており、2018年度には、機械科学技術、生命科学がスタートします。材料科学、災害科学・安全学、日本学の分野でも創設準備が進んでいます。

これと両輪をなす研究に関しては、材料科学、スピントロニクス、未来型医療、災害科学の4領域、本学が世界的に見て強みを持っている領域ですが、これらの領域を世界トップレベル研究拠点として選定し、重点的に整備していきます。さらに、東北大学が優れた成果を挙げつつある宇宙創成物理や環境・地球科学などの5つの領域を加えた9領域で国際研究クラスターを展開します。そのあとに多くの領域が続いていくという構想です。

つまり、私たちの研究の強い領域に国際共同大学院を併設することで、世界的に卓越した研究クラスターの形成を加速させること、教育と研究を両輪で回すことによって、本学の研究と教育を発展させる、このことがポイントです。

——国際集積エレクトロニクス研究開発センターの取り組みは、大

野先生が研究してきたスピントロニクスが関係する分野ですね。成果はいかがですか。

大野 不揮発性のメモリーとして実用的なものができつつあり、年内にはその一部が実用化される見通しです。IoT 機器の待機電力を極限まで抑えることができるため、IoT 技術を隅々までに普及させるための鍵になると思います。また AI ハードウェアに向けた研究開発も進んでいます。これに加えて、スピントロニクス分野では、基礎・基盤研究が研究科や附置研究所・センターなど各所で進められていて、新しい芽が次々に出てきています。

好奇心で始めた研究がノーベル賞候補に

——スピントロニクス分野の研究によって大野先生はノーベル賞候補に挙げられています。そこまで達することができたのはなぜでしょうか。

大野 スピントロニクスの研究は30年前に始めましたが、今風に言うところ *curiosity driven*、好奇心で始めた研究でした。スピンにかかわる現象を大きく出すための新しい半導体を作ることはできるのか、という興味で取り組みました。役に立ったらいいとは思いましたが、取り組んでから最初の10年あまりは、材料開発と低温における物性物理学

の実験が中心でしたので、新たな半導体を創成するなどの基礎的貢献はしたものの、役に立つ見通しは簡単には立ちませんでした。その分、物理学的観点からの新しい現象を追求していました。その後、研究が進んだことから、産業に結び付く成果も出てくるまでになりましたが、最初から目標がはっきりあって研究を進めたわけではありません。

基礎研究の成果で注目をいただいたのは、ほかの人がやっていない新たな可能性を切り開くということを考えながら研究を進め、それが研究成果という形になったからだと思います。研究を継続することのできる環境のおかげで挑戦を続けることができ、最終的には役に立つ成果も出すことができました。研究の方向は決められますが、新しい知見を約束はできません。継続的な研究の中で、思ってもいなかった発見や発展があるからこそ、研究、特に基礎研究は面白くまたやりがいのある営みなのです。これは、大学でなければなかなか担うことのできない営みです。

「世界三十傑大学」の意味

——指定国立大学法人の目標として「世界から尊敬される三十傑大学」が挙げられています。私たちはどのようなことを期待したらいいのでしょうか。

大野 「三十傑」には、「いい大学として30 挙げてください」と世界の人々に問いかけたとき、東北大学が自然にその中に入るようにしたいという思いを込めています。reputation（評判、名声）としてそういう大学になりたいのです。

「30 位」と言わないのは、大学ランキングとは違うという意味です。ランキングは、多様な活動をしている大学を測る一つの物差しにしかすぎません。例えば、本学は震災復興活動の中で“社会と共にある大学”というアイデンティティを再確認しつつあるわけですが、そういった活動や、社会課題を解決するために本学が推進している「社会にインパクトある研究」、あるいはそれと深く関係した国連で17の領域で進めているSDGs（持続可能な開発目標）に関わる活動などは、現在のランキングではなかなか評価されません。また、イノベーションに寄与するこ

とが、必ずしも論文の被引用回数に結びつくわけではありません。今後、大学の多様な価値を表現できる指標を示していくことも、私たち大学人の役割であるのかもしれない。

ただ、現在ある大学ランキングの影響力は大きいものがあり、また項目の中には私たちの指標として重要なものがあります。特に、東北大学の研究成果からすると、論文の被引用回数などはもう少し多くなってもいいと思います。

——多様な挑戦とおっしゃっていますが、具体的なイメージはどういうものでしょうか。

大野 多様な挑戦の一例として、入学式にお話ししたことですが、臨床宗教師があります。東日本大震災のあと宗教者が現地に入って被災者の方々の心と向き合ったわけです。そうすると、宗教、宗派を超えた、やらなければいけないことが見えてきました。このことがあり、95年の



歴史を持つ東北大学の宗教学研究の成果をベースにした、臨床宗教師という高度職業人を養成するプログラムが初めてできあがりました。

社会的要請に応えるために研究していたわけではありませんが、深い骨太の研究が土台にあったからこそ、必要なときに社会と連携した貢献ができるという例です。

財務基盤を社会連携で支える

——かなり国立大学の財務状況は厳しくなっているようですが。

大野 18歳人口が減ることから、国立大学全体に対しての支出を減らすというのは一つの考えですが、私はここでよく考え、知恵を出していないと道を誤ると危機感を覚えています。大学というのは未来への投資です。特に七大学は、これからの社会の未来を世界と共につくっていく人材を育成しているわけです。この仕組みを大事にし、どのように発展させるかを考える必要があります。少子化だからといって、私たちの未来をしぼませてはいけません。100年を超える年月をかけて多くの人材を輩出するとともに、有形無形の資産を蓄積してきたわが国の総合大学をどのように活用し、わが国の未来を築き世界に貢献していくのかという視点がなくてはなりません。

——指定国立大学にしても活動すればするほどお金がかかると思い

ますが、財務の裏付けはどういうふうにお考えですか。

大野 私たちは、産学連携による民間との共同研究費が重要な要素になると考えています。民間から信頼されるパートナーとなってイノベーションに貢献する、このことは社会と共にある大学が果たしていく大きな役割です。その活動のための研究費に、産学連携に関わる教員のエフォートに対応する適切な対価を含めていただきたいと考えています。

例えば、教員は国内・国外の会社との共同研究でいろいろな研究開発を進めています。現在、その活動にかかわる教員の人件費は、基本的には大学の運営費交付金から支払われています。もちろんそのような協力関係がふさわしい基盤的な共同研究も多いわけですが、その一方で、社会実装をより強く意識した産学連携では、教員人件費をエフォートに比べて民間に負担していただくという連携のかたちがふさわしい場合も多いのです。その方が、産業界と大学が真剣に議論する場を共有できることとなります。

一方、大学経営の観点からは、そのような連携の結果、これまで人件費に充てていた運営費交付金の一部を他にまわすことができるようになりますので、産学連携と今は直接関係しない基礎分野にも配分できる仕組みを作りたいと思います。文・理

を問わず、基礎研究は将来の新たな知の源泉ですし、研究大学の生命線ですからね。大学全体が産学連携を応援する、それによって大学全体が発展する、このような仕組みを作ろうということです。

卒業生と一緒に活動

——卒業生に対してメッセージをお願いします。

大野 今、東北大学が何を、どこに向かおうとしているかを知っていただき、ぜひご意見をいただきたい。さらに大学と一緒に活動もいただければと願っています。

私たちは、平和で豊かな社会の構築に貢献できる人材を育成していますが、これはとりもなおさず変革を先導するダイナミックなプロセスに参加できる人材の育成にほかなりません。卒業生の皆さんには、社会に先に出た先輩として、現役の学生や教職員に対し、社会からのダイナミックなフィードバックを是非お願いしたいと考えています。

——東北大学の同窓会事業として考えていることはありますか。

大野 大学に対して関心を持ってもらい、大学がチャレンジすべきことを卒業生の皆さんと一緒に考えていく土壌を作り、さらには「一緒にやろう」という活動につなげられたらと思います。地道に粘り強く、しかし活発に活動していきたいと思っ

ています。本学では、「萩友会（しゅうゆうかい）」と呼ぶ、全学同窓会の活動が大きく盛り上がってきています。そういえば、学士会との共同事業も活発化してきていますね。この同窓会事業は、里見前総長がとりわけ力を入れてこられたものです。私はそれを引き継いで、全国各地域の、あるいは海外の同窓会活動を充実させ、頼れるネットワークとして発展させていきたいと思います。同窓会のさらなる発展は、私自身、総長として最も重視しているテーマの一つです。

七大戦に強い伝統を引き継ぐ

——大野先生は、東大も北大もよくご存知だと思いますが、七大学を比較して感じることはありますか。

大野 なかなか単純な比較はできませんが、東北大学のよいところは、先にも述べたように「一体感」ですね。もちろん、他大学のいいところは吸収させていただきま

すし、われわれが先んじてやれることもたくさんあると思っ

ながら、他の六大学の活動を見せていただいています。里見前総長からは「七大戦は私の代で4回も総合優勝した。過去、そういう総長はいない」と言われています。七大戦に強いという伝統を今後も続けなければというプレッシャーも感じています。

——ありがとうございました。

東北講演会

開催日：2018年2月3日（土）

会場：東北大学片平さくらホール

仙台藩の戊辰戦争

作家 なかむら あまひこ 中村 彰彦

今年、西日本では「明治維新150周年」ですが、関東以北では「戊辰戦争150周年」と言います。攻めていった側は「郷里が焦土と化し、落城し、略奪され、友人の死体が転がっている」という経験がないので、「戊辰戦争」と聞いても胸の痛みがなく、戦の記憶も薄れているでしょう。しかし、東北人は「あの戊辰の年を忘れてはいけない」と思い続け、今も戦死者を追悼しています。

戊辰戦争の戦死者は少なかった

最初に奥羽列藩同盟の戦死者の数を紹介します。この同盟は、「会津藩の松平容保公は京都守護職として7年間も京都の治安を守ったのに、何故、賊徒として討たれるのだ。そんな気の毒な話はない」という一種の友情からできた同盟です。会津を助けるための同盟なので、会津藩は入っていませんが、戊辰戦争を東軍

対西軍と考える場合、東軍は奥羽列藩同盟に参加した諸藩と会津藩と旧幕府です。

戦死者が最も多かったのは会津藩で、3,014人です。旧幕臣1,505人、仙台藩1千余人と続きますが、その後はぐっと減り、二本松藩（福島）336人、庄内藩322人です。その他、全て合計して7,664人になります。

これに対し、新政府軍の戦死者のデータはありません。彼らは勝利の後、ばらばらに郷里に帰ったので、集計できなかったのでしょう。

実は7,664人という数は、内戦の戦死者としては非常に少ないのです。欧米の場合、ナポレオン戦争や南北戦争などの戦死者は、50万～60万人と凄まじい数です。欧米の内戦では必ず大量虐殺が起きたからですが、日本では起きませんでした。

そもそも日本では、武器の殺傷能



力が高くありません。薩長は7連発のスペンサー銃や5連発のスナイデル銃を持ちましたが、列藩同盟は火縄銃や単発のミニエー銃でした。

戦う姿勢も知的でした。松平容保は会津藩の軍事顧問のスネル兄弟から、「ベトナムから傭兵を連れてきて徹底抗戦しよう」と提案されましたが、「そこまでしたら、ただの殺し合いだ」と言って断っています。

さらに列藩同盟は列強に局外中立を守らせました。新政府軍も真似て、列強に中立を申し渡しました。

純然たる内戦となったおかげで、幕末の日本は、清朝末期のように列強から「横浜は俺のものだ」「神戸は俺のものだ」と火事場泥棒されることはありませんでした。

戊辰戦争の戦争責任

とはいえ、これだけの戦死者を出せば戦争責任が問われます。9月22日、会津藩が開城降伏すると、長州藩は「家老の首を3つ出せ」と要求しました。会津藩は田中土佐、神保内蔵助、萱野権兵衛の首を差し出しました。土佐と神保は既に戦死していたので、萱野が切腹しました。

「家老の首3つ」には因縁があります。元治元（1864）年、禁門の変で長州藩は御所に大砲を撃ち込み、「賊軍」と名指しされます。

その後、長州藩の陣地から藩主の黒印状（藩主の黒印の押された軍令状）が発見され、禁門の変は藩主、毛利敬親が仕掛けたと判明しました。

しかし、彼はとぼけて「戦の責任者は家老三人だ」と言い、家老の首を3つ差し出したのです。この時、家老の益田右衛門介と国司信濃は淡々と死にましたが、福原越後は涙を流しながら切腹したそうです。

仙台藩の場合、会津藩よりは罪が軽いとみなされ、家老の首2つで済み、二人の家老、但木土佐と坂英力が斬首されました。

仙台藩の藩校の優秀さ

仙台藩の藩校は「養賢堂」といい、玉虫左太夫が指南統取（校長）を務めていました。彼は万延元（1860）年、日米修好通商条約の批准書交換

使節団の一員として渡米するなど、開明的な人でした。しかし、同じ佐幕派の仙台藩士、若生文十郎と共に奥羽列藩同盟の成立に尽力した責任を問われ、明治2（1869）年、二人とも切腹しました。

養賢堂の校長が奥羽列藩同盟の成立に尽力したように、戊辰戦争の裏側には各藩の藩校関係者が大勢奮闘しています。

私はかつて「諸藩の藩校の学力はどの程度だったか」という問題に関心を持ちました。当時、諸藩の藩校を優秀な成績で出た人は江戸の昌平坂学問所に留学を許されましたから、「各藩校の留学生数」を目安に、データを作成してみました。すると、

- 1位 佐賀藩（40人）
- 2位 仙台藩、薩摩藩（21人）
- 4位 会津藩（19人）

と、見事に東西の雄藩が並びました。

ただし、薩摩藩77万石、会津藩23万石というように藩によって石高が異なるので、「石高と藩士数は比例する」と仮定し、1万石あたりの留学生数を計算し直しました。すると、

- 1位 佐賀藩（1.12人）
 - 2位 会津藩（0.83人）
 - 3位 仙台藩（0.34人）
 - 4位 薩摩藩（0.27人）
- となりました。

戊辰戦争に巻き込まれた仙台藩

戊辰戦争は、戊辰の年の慶応4年（明治元年、1868年）1月3日、鳥羽伏見の戦いで始まりました。

4月11日、江戸城が無血開城になると、これに納得しない抗戦派（旧幕軍、桑名藩、会津藩など約2,500名）はその夜のうちに江戸を脱出して市川へ向かい、周辺の勤王藩を攻撃しました（総野の戦い）。

一方、江戸に残った彰義隊は5月15日、上野戦争で壊滅しました。

総野の戦いは宇都宮城の戦いに収斂していき、土方歳三ら新選組の活躍もあって勝利しましたが、やがて新政府軍に追われ、日光から会津へ逃れていきました。

こうした流れとは別に、3月19日、奥羽鎮撫総督府（新政府軍）の部隊700～800人が、松島湾に突然現れました。当時、仙台藩は尊王攘夷派と公武合体派に分裂しており、このうち尊攘派が鳥羽伏見の戦いに勝った新政府軍を仙台に招いたので、こうして仙台藩は戊辰戦争に巻き込まれていきました。

奥羽鎮撫総督府の部隊は、総督、副総督、上参謀はお飾りの公家で、実権は下参謀が握っていました。

1人は薩摩藩の大山格之助（綱良）です。後に鹿児島県令でありながら西南戦争中に西郷隆盛を支援し、逮捕され、斬首されました。

もう1人は長州藩の世良修蔵です。大変傲慢な人物で、「竹に雀（伊達家の家紋）を袋に入れて、後でおいらのものとする」と歌って仙台藩を馬鹿にするなど、奥羽諸藩に侮蔑的な態度を取り続けました。

二人が伊達家の別邸で伊達慶邦公と面会した時、問題が起きました。本来なら東北随一の伊達の殿様が直接会ってくれるだけで感謝すべきなのに、世良はなんと、殿様を「仙台中将」と呼び捨てにし、「さっさと会津へ討ち入れ」と命じたのです。世良と一緒にやってきた新政府軍の兵も、仙台で婦女暴行、略奪などを繰り返しました。

米沢藩と仙台藩が会津藩を助けた理由

しかし仙台藩に会津藩を攻める気はなく、逆に会津藩を助けるために米沢藩と相談し、5月3日、奥羽越列藩同盟を成立させました。何故、両藩は会津を助けたのでしょうか。

①米沢藩の事情

江戸初期、米沢藩3代目藩主・上杉綱勝が世継ぎもないまま、26歳で病死しました。通常ならお家断絶ですが、会津藩初代藩主で四代将軍家綱の将軍輔弼役として老中たちを指導する立場にあった保科正之は謙信以来の名門の断絶を惜しみ、「上杉家は吉良家から養子を取ることに決めていたが、幕府に養子届を

出すことを忘れていた」ということにして、罰として石高を30万石から15万石に減らすことで、上杉家を存続させました。

②仙台藩の事情

江戸前期、伊達宗勝（幼藩主・綱村の後見役）や原田甲斐（家老）との対立する伊達安芸（重臣）が藩内の事情を幕府に訴え出たところ、詮議が行なわれた大老酒井忠清邸で突然原田が伊達安芸を斬殺し、最後は自分も斬殺されました。

この伊達騒動は保科正之の尽力により、「原田家断絶、藩主お咎めなし、滅封なし」で収束しました。

このように両藩は会津藩に恩義があったため、幕末に会津を助けたのです。幕末史研究者の多くは江戸初期の事情を知らないのが残念です。

世良修蔵の最期

列藩同盟の成立に苛立った世良は、もう一人の下参謀、大山宛に「奥羽は皆敵」と記した密書を送りました。ところが、この密書は仙台藩士に読まれ、6月10日、世良は激高した彼らにより阿武隈川の河原で殺されました。死の直前、世良は謝罪を繰り返し、がたがた震えていたそうです。世良の所業は長州でも評判が悪く、維新後、未亡人が困窮しても世話する者はなく、彼女は餓死同然の死に方をしました。

白河城争奪戦と西郷頼母

仙台藩と会津藩を主力とする東軍 2,500~2,600 人は、同盟成立直前の 4 月下旬、白河口で薩摩藩を主力とする新政府軍 700 人と激突しました。東軍は会津藩家老で白河口総督の西郷頼母の拙い戦略のため、700 人の死者を出して大敗しました。

西郷は当時、家老を解任され、蟄居 6 年目でした。彼は松平容保の京都守護職就任に反対し、容保の許可なく上京して帰国を説いたため、容保の怒りを買ったのです。

その間にナポレオン流の洋式戦術が伝わり、最新式の銃が普及していました。新政府軍は大村益次郎の指揮下、物陰から最新式のライフル銃を撃ちました。しかし、西郷は昔さながらに槍足軽や鉄砲足軽を一列に

並べ、後ろに騎馬武者を配し、攻撃させていました。

ライフル弾は鎧を通したので被害甚大でした。会津期待の星、若年寄だった横山常守も 22 歳で戦死しました。彼は前年、徳川昭武らと訪欧し、白河口の戦でも副総督を拜命していました。

西郷家の女性たち 21 人は頼母のために藩士が大勢戦死したことに責任を感じ、会津の人々が鶴ヶ城に籠城した 8 月 23 日、屋敷で自害しました。

仙台藩の指揮系統の問題

大敗の責任は他にもありました。侍の忠義は直接仕える主君に捧げられますが、仙台藩は陪臣（臣下の臣下）が異様に多く、彼らの忠義が藩主に向かわなかったため、藩全体の



(左から) 阿部博之学士会理事、中村彰彦氏、里見進東北大学総長 (当時)

指揮系統が弱かったのです。

私は20年程前にこの結論にたどり着いたのですが、大山柏（大山巖・捨松の二男）は『戊辰役戦史』（1968）で既に指摘していました。

細谷十太夫の活躍

將軍御典医の松本良順が、「ドン五里」（薩長が大砲をドンと打つと、仙台兵は5里逃げる）と表現したように、戦が下手だった仙台藩にあって最後まで新政府軍を悩ませたのが、細谷十太夫です。

彼はやくざ者などを束ねて「鴉組」というゲリラ組織を作り、三十数回も夜襲攻撃を仕掛け、その全てに勝利しました。

「鴉組」の名の由来は、彼らが夜陰に紛れるために黒装束だった上、細谷が常に鴉を肩に留まらせていたからです。黒装束はリバーシブルで、敵に追われた時、物陰で裏返して灰色の服に替え、逃げおおせました。

榎本武揚と土方歳三

8月19日、榎本武揚ら旧幕府海軍が開陽丸など最新鋭の幕府の軍艦を全て率いて江戸を脱走し、8月26日、松島湾に到着しました。

しかし、会津で戦争を指揮していた土方から、「会津はもう駄目だ。仙台で戦おう」と言われ、二人は青葉城で仙台藩と作戦会議をしました。

会議の場で土方は、「同盟軍の指

揮権を全て自分に委ねよ」と要求しました。土方は指揮系統の弱点を痛感していたのでしょうか。

しかし当時、日本はまだ近代国家ではなく、個人も「日本人」ではなく「会津人」や「仙台人」でした。会津藩士が仙台藩の家老の命令で動くことはできませんでした。

「歴史に“もし”はない」とは言え、もしこの時、土方が全権を掌握していたら、仙台は火の海になっていたかもしれません。仙台藩の判断は正しかったのでしょうか。

仙台藩は9月4日から降伏を検討し始め、12日に降伏し、17日に開城しました。22日には会津藩が開城し、仙台及びその周辺の戊辰戦争は終わりました。

土方と榎本は仙台を去り、翌年5月、彼らが箱館戦争で敗北することによって、戊辰戦争は終わりました。

藤原相之助と『仙台戊辰史』

戦前、藤原相之助（1867～1947）というジャーナリストがいました。秋田出身で、内藤湖南と共に「東北の二大健筆」と称され、新聞記者の傍ら、戊辰戦争の研究をした人です。

彼は名著『仙台戊辰史』（1911）の中で、東北人の怒りをもって世良のような「官賊」（新政府軍を名乗った賊軍）に筆誅を加えました。

本の出版後、長州人は「俺達はそこまで悪いことはしていない」と反

論し、その思いが末松謙澄著『防長回天史』に結実しました。『仙台戊辰史』が戊辰戦争の研究を深化させたと言えます。

元日銀副総裁で作家の藤原作弥氏は相之助の孫で、祖父の臨終の場面を描いています。

「祖父は父をはじめ家族の一人一人に握手を求め、一人一人の顔をじっと見つめては頷いていた。最後に妻である祖母の手を握り、別れを告げると、自ら両手で毛布を引き上げ

て顔を覆った」。

その後、医者が脈を測り、臨終を告げました。見事な死でした。

最近、中国や韓国との歴史観の相違を論じる人々は「歴史戦」ということばを使います。これにちなんでいうならば、仙台藩は戊辰戦争の実戦では敗北したが、藤原相之助が『仙台戊辰史』を書いてくれたおかげで歴史戦には勝利した、ということでしょうか。



PROFILE



1972年東北大学文学部国文科在学中に、『風船ガムの海』で第34回文学界新人賞佳作入選。1973年東北大学文学部卒業、株式会社文藝春秋に編集者として勤務。1987年『明治新選組』で第10回エンタテインメント小説大賞。1991年より執筆活動に専念し、現在に至る。

受賞：1993年『五左衛門坂の敵討』で第1回中山義秀文学賞。1994年『二つの山河』で第111回直木賞。2005年『落花は枝に還らずとも』で第24回新田次郎文学賞。2015年第4回歴史時代作家クラブ賞実績功労賞。

第57回 七大学戦、いよいよ開幕!

第57回全国七大学総合体育大会（七大学戦）の開会式が、去る6月30日（土）、主管校の北海道大学にて挙行されました。

既に競技を終えている競技種目の結果と、今後の競技日程は以下の通りです。東北大学が連覇するのか？北海道大学が主管校の誇りにかけて意地を見せるのか？伏兵たちも虎視眈々と下剋上を狙っています！最新情報は、七大学戦公式サイト（<http://www.7-univ.jp/>）をご覧ください。



(2018/6/8 現在)

競技名	北海道大学	東北大学	東京大学	名古屋大学	京都大学	大阪大学	九州大学
アイスホッケー	1位	5位	6位	3位	4位	2位	7位
スキー	不参加	1位	4位	5位	6位	2位	3位
航空	3位	1位	2位	4位	5位	6位	7位
馬術	1位	4位	5位	2位	3位	該当なし	6位
競技名	競技日程		競技会場				
硬式テニス	6/28(木)~7/2(月)		野幌総合運動公園				
少林寺拳法	6/30(土)~7/1(日)		北大第一体育館、第二体育館				
バスケットボール	7/2(月)~7/6(金)		美香保体育館、北大第一体育館				
柔道	7/6(金)~7/8(日)		きたえる				
ヨット	7/14(土)~7/16(月)		小樽市祝津ヨットハウス				
空手	7/14(土)~7/15(日)		北大第一体育館				

競技名		競技日程	競技会場
剣道		7/14(土)~7/15(日)	またえーる
ラクロス	男子	9/4(火)~9/6(木)	北大サッカー場
	女子	7/14(土)~7/16(月)	北大サッカー場、屋内競技場
競泳		7/21(土)~7/22(日)	平岸プール
陸上競技		7/28(土)~7/29(日)	厚別公園
準硬式野球		8/6(月)~8/9(木)	麻生球場、円山球場
ハンドボール		8/9(木)~8/13(月)	北大第一体育館、第二体育館、屋内運動場、未定
硬式野球		8/8(水)~8/11(土)	円山球場、麻生球場
体操		8/10(金)~8/12(日)	野幌総合運動公園
バドミントン		8/11(土)~8/17(金)	北大第一体育館、第二体育館
演舞		8/12(日)	クラーク会館
陸上ホッケー		8/13(月)~8/17(金)	野幌総合運動公園
バレーボール		8/13(月)~8/17(金)	札幌市北区体育館、美香保体育館
フェンシング		8/18(土)~8/28(火)	川内体育館(東北大)
相撲		8/19(日)	京都市武道センター
弓道	男子	8/23(木)~8/24(金)	北大弓道場
	女子	8/25(土)~8/26(日)	
水球		8/25(土)~8/26(日)	京都大学プール(京都大)
ゴルフ		8/29(水)~8/31(金)	札幌ゴルフクラブ由仁コース
自動車		8/30(木)・ 9/1(土)~9/2(日)	ラリー：オートスポーツランドスナガワ又は、 新千歳モータースポーツランド ジムカーナ：ARKsprint300に併設
アーチェリー		9/1(土)~9/3(月)	キロロリゾート
ソフトテニス		9/3(月)~9/7(金)	円山運動公園
ソフトボール		9/5(水)~9/7(金)	はまなす国体記念石狩市スポーツ広場
卓球		9/5(水)~9/9(日)	北大第一体育館、小体育館

七大学共通

告知

全国大学進学相談会



昨年は11万人以上の高校生が参加した夢ナビライブが今年も仙台・東京・名古屋・大阪・福岡の5会場で開催されます。

※詳細はQRからご覧ください。

報告

第1回日露大学協会総会及び日露学生フォーラムが開催されました



5月19日(土)、20日(日)、北海道大学学術交流会館及び京王プラザホテル札幌で、第1回日露大学協会総会(第7回日露学長会議)が開催されました。

総会には、北海道大学、東北大学、名古屋大学を含む日露大学協会加盟校(日本側21大学、ロシア側11大学)の学長や副学長等をはじめ、日露の大学間交流に関心の高い大学や協賛企業なども集まり、約200名が参加しました。

※詳細はQRからご覧ください。

北海道大学

告知

重要文化財「札幌農学校第2農場」の屋内公開



札幌農学校第2農場は、模範家畜房・穀物庫・牝牛舎内を一般公開しています。なお、建物外観や前庭は通年公開しています。

日程 開催中～11月3日(土・祝)

場所 札幌市北区北18条西8丁目

屋外公開 8:30～17:00

屋内公開 10:00～16:00

休館 毎月第4月曜休館

※詳細はQRからご覧ください。

北海道大学と農業・食品産業技術総合研究機構が連携・協力に関する協定を締結



この協定は、相互に連携・協力を行い、共同研究、研究成果の普及及び農業・食品産業分野における人材育成等を推進することにより、我が国の農業・農村及び地域の活性化並びに国民生活の向上に寄与することを目的として締結されたものです。

※詳細はQRからご覧ください。

北海道大学構内初の新感覚コンビニエンスストアがオープン



北海道大学札幌キャンパス内に「セイコーマート北海道大学店」が7月下旬にオープンします。

店舗前のベンチなど、ゆとりのある空間を作り、開放的な2階の屋外テラスでは、色彩豊かな北海道大学の四季を感じていただけます。

1階にはインフォメーションコーナーが

報告

中村太士北海道大学農学研究院教授に紫綬褒章



このたびの受章は、永年の生態系管理学、森林学、地形学、生態学の教育、研究への功績及び自然環境の保全と管理の社会的貢献に寄与したことによるものです。

※詳細はQRからご覧ください。

設けられ、北海道大学の歴史や最先端の研究成果など、北海道大学の魅力を学外に発信するための広報スペースとして活用されます。2階の休憩スペースにはテ

ーブルやイス、キッチンを配置し、セミナーやイベントなどで利用することができます。

※詳細はQRからご覧ください。

東北大学

告知

東北大学サイエンスカフェ、 リベラルアーツサロン



日時 7月11日(水) 18:00~19:45
場所 せんだいメディアテーク
講師 正井秀俊東北大学材料科学高等研究所助教

演題 『数学小断~日常に数学を~』

日時 7月27日(金) 18:00~19:45
場所 東北大学片平キャンパス片平北門会館2階エスパス

講師 野村啓介東北大学大学院国際文化研究科准教授

演題 『ワインの〈テロワール〉を歴史する—近代フランスのワインづくり—』

日時 8月31日(金) 18:00~19:45
場所 せんだいメディアテーク

講師 鈴木匡子東北大学大学院医学系研究科教授

演題 『見えるもの、見えないもの~脳と視覚の不思議な関係~』

※詳細はQRからご覧ください。

報告

東北大学111周年フォトコンテスト(冬)入賞作品発表



東北大学では、「あなたが世界に紹介したい・自慢したいもの」をテーマに、「東北大学111周年フォトコンテスト(冬)」を実施いたしました。

「東北大学フォトコンテスト」は東北大学110周年を記念して開始され、今回が4回目となります。学生、教職員はもとより国内外より50点を超える応募がありました。

※詳細はQRからご覧ください。

東京大学

告知

東京大学音楽部管弦楽団サマーコンサート2018



千葉公演

日時 7月21日(土) 14:00~
場所 森のホール21 大ホール
参加費 1,000円(全席自由)

東京・埼玉公演

日時 7月28日(土) 18:00~
場所 川口総合文化センターリリアメインホール

参加費 S席1,500円 A席1,000円(全席指定)

愛知公演

日時 8月4日(土) 13:30~
場所 豊田市コンサートホール
参加費 1,000円(全席自由)

関西公演

日時 8月5日(日) 14:00~
場所 関西ザ・シンフォニーホール
参加費 1,000円(全席自由)

九州公演

日時 8月7日(火) 19:00~
場所 アルモニーサンク 北九州ソレイユホール

参加費 1,000円

※詳細はQRからご覧ください。

高校生と大学生のための金曜特別講座



日時 7月13日(金) 17:30~
場所 東京大学教養学部 18号館ホール
講師 小谷潔東京大学先端科学技術研究センター准教授
演題 『微積分でよみとく脳・生命・社会』
日時 7月20日(金) 17:30~
場所 東京大学教養学部 18号館ホール
講師 川崎義史東京大学教養学部教養学科講師

演題 『言語の計量的分析』

※詳細はQRからご覧ください。

高校生のための東京大学オープンキャンパス2018



日時 8月1日(水)、2日(木)
10:00~17:00

場所 東京大学本郷キャンパス
※詳細はQRからご覧ください。

名古屋大学

お知らせ

第24回名古屋大学博物館特別展『カニコレ'18-カニのハサミは使いよう』



日時 開催中~2018年10月20日(土)
10:00~16:00(入館は15:30まで)
※日・月曜日および8月11日~14日は休館日になります。

場所 名古屋大学博物館
参加費 無料

<関連特別講演会イベント>

場所は全て名古屋大学博物館3階講義室です。

日時 7月7日(土) 13:00~15:00
講師 安藤佑介瑞浪市化石博物館学芸員
演題 『カニ・エビ化石の世界』
日時 9月1日(土) 13:30~15:00
講師 清家弘治産業技術総合研究所主任研究委員
演題 『穴を掘って暮らすカニやエビ:地面の下での巧みな生き方』
日時 9月29日(土) 13:30~15:00

講師 佐藤武宏神奈川県立生命の星・地球博物館専門学芸員

演題 『甲・鋏・脚~姿かたちから知るカニの生き方・暮らし方』

※詳細はQRからご覧ください。

第74回名古屋大学博物館コンサート NUMCo



日時 7月14日(土) 14:00~15:00

場所 名古屋大学博物館

参加費 無料※席は200席を用意。足りない場合は立ち見となります。

※詳細はQRからご覧ください。

ミクロの探検隊®



日時 観察園のムシ 7月21日(土)
10:00~15:30

雑木林のムシ 8月18日(土)
10:00~15:30

参加費 50円(保険料) 雨天決行 持ち物あり

※詳細はQRからご覧ください。

京都大学

告知

第96回京都大学丸の内セミナー



日時 7月6日(金) 18:00~
場所 京都大学東京オフィス(新丸の内ビルディング10階に移転しました。)

講師 見学美根子京都大学高等研究院物質-細胞統合システム拠点教授

演題 『ライブ観察で解く脳皮質形成のメカニズム』

定員 70人先着順(どなたでも参加できます。)

※詳細はQRからご覧ください。

こころの思想塾・講演会~今日の世界と文明を問い直す~



日時 7月4日(水) 18:00~
場所 稲盛財団記念館3階大会議室
講師 佐伯啓思京都大学名誉教授
定員 80人(どなたでも参加できます。)
参加費 無料

※詳細はQRからご覧ください。

第5回京都大学-稲盛財団合同京都賞シンポジウム



日時 7月22日(日) 13:00~
場所 有楽町朝日ホール
定員 600人申し込みによる先着順(どなたでも参加いただけます。)

参加費 無料

※詳細はQRからご覧ください。

大阪大学

告知

大阪大学箕面キャンパス「夏まつり」

開催日 7月7日(土)
場所 大阪大学箕面キャンパス

2018年大阪大学オープンキャンパス(大学説明会)



開催日 8月6日(月)~8月11日(土・祝)

大阪大学では、大学への進学を希望している高校生および既卒業者のみなさんを対象として、オープンキャンパス(大学説明会)を開催する予定です。

※詳細はQRからご覧ください。

報告

第13回大阪大学ホームカミングデイが開催されました



4月30日(月・祝)に開催され、約

550名の卒業生、在学生、保護者、教職員など「大阪大学ファミリー」が一堂に集まりました。

第1部は、軽音楽部 SWING ビックバンド「The New Wave Jazz Orchestra」のオープニング演奏で始まり、西尾章治郎大阪大学総長からの近況報告と、岸本忠三大阪大学同窓会連合会会長から挨拶がありました。

次いで、プロサクソ奏者日比野則彦さん(阪大・人間・平8卒)とThe New Wave Jazz Orchestraによるジャズライブ、応援団の演舞、お祭りダンスサークル祭楽人によるダンスが行われました。

第2部の交流会では、抽選会で当たって喜ぶ参加者と西尾総長が記念撮影するなどのひと時となりました。

※詳細はQRからご覧ください。

九州大学

■ 告 知

2018年九州大学オープン キャンパス（大学説明会）



九州大学ではオープンキャンパス（大学説明会）が実施されます。

開催日 8月4日（土）、5日（日）、6日（月）
※詳細はQRからご覧ください。

一般市民のための『フィルム 写真撮影と現像』講座



日 時 9月15日（土）、9月16日（日）
（全2回）両日も10：30～16：30

会 場 九州大学大橋キャンパス

講 師 須長正治九州大学大学院芸術工学
研究院准教授ほか

1日目 フィルムカメラの使用方法、撮影
方法及びフィルム現像処理方法

2日目 印画紙の現像処理方法及び写真パ
ネル作成

参加費 6,400円

定 員 8人（先着順）

※詳細はQRからご覧ください。

西洋近現代演劇入門



日 時 10月9日（火）～10月30日（火）
全4回18：00～19：30

場 所 九州大学大橋キャンパス5号館1
階512講義室

講 師 大島久雄九州大学大学院芸術工学
研究院准教授

参加費 3,000円

定 員 50人（先着順）

申込期間 7月1日（日）～9月28日（金）
※詳細はQRからご覧ください。

■ 報 告

平成30年度九州大学開学記 念式典が挙行されました



九州大学は、5月11日を「九州大学記
念日」とし、例年、開学記念行事が開催

されています。今年も、5月11日（金）
に伊都キャンパスの椎木講堂で開学記念
式典が挙行され、招待者や学内外の関係
者約200名が出席しました。

式典では、まず久保九州大学総長から、
九州大学の現状や最近の取組の紹介が行
われました。

次いで、九州大学に多大な貢献をされ
た方への感謝状の贈呈、名誉教授への称
号記の授与、山川賞を受賞した学生2名
の発表が行われました。

続く講演会では、丸山宗利九州大学総
合研究博物館准教授から『アリの巣をめ
ぐる冒険』と題した講演がありました。

また、記念式典終了後の懇談会では九
州大学応援団による演舞が披露されまし
た。

なお、開学記念行事の一環として、各
キャンパスでも学内施設が一般公開され、
九州大学の最先端の教育研究内容を広く
知っていただくためのイベントも開催さ
れました。

九州大学学生歌「松原に」JR九 大学研都市駅及び昭和バス車 内で放送が開始になりました



4月2日（月）から昭和バス車内で、
翌週4月9日（月）からはJR九大学研
都市駅ホーム及びコンコースでも放送が
開始になりました。

駅ホーム及びコンコースでは、「松原
に」にあわせて、九州大学学生一同が、乗
車マナーの向上に協力することを宣言す
る、歩きスマホ・優先席・駆け込み乗車
禁止の3つのパターンを放送しています。

学生歌「松原に」は、昭和30年に学
生向けに校歌と寮歌の詩の公募がおこな
われ、当時経済学部の学生であった秋山
喜文さんが作詞を、工学部の山田尚慶さ
んが作曲した作品です。

※詳細はQRからご覧ください。

同窓会案内・開催報告

七大学同窓会共通

報告

巣鴨会「お花見」が開催されました

絶好の晴天に恵まれた4月1日(日)、飛鳥山公園でお花見が開催され、81人の方が話に花を咲かせました。有名店のホールケーキに頬を緩めたり、目の前に広がる桜吹雪に歓声をあげたりする姿が見られました。続く夜の懇親会にも32人が集い、丸一日親睦を深めつつ閉会となりました。



次回は7月21日(土)に足立の花火鑑賞会を開催します。旧七帝大系若手交流会・巣鴨会へのお問い合わせやお申し込みは、

久保真一さんまでお願いします。

kubo@wind.ocn.ne.jp

報告：久保真一さん(九大・法・平15卒)

七大学若手会「花見大会」が開催されました



4月7日(土)、猿江恩賜公園で第4回目となる花見大会が開催され、30名(男性13名、女性17名)の若手が参加しました。「公園探検クイズ」や「山手線ゲーム」、「バイオリン」の演奏など交流のひとつを過ごしました。

※詳細はQRからご覧ください。



北海道大学同窓会

告知

北海道大学校友会エルムが英語試験受験を支援



2017、2018年度に北海道大学へ入学さ

れた方限定で2018年度の英語試験(TOEIC・TOEFL)受験支援が実施されます。

※詳細はQRからご覧ください。

東北大学同窓会

告知

東北大学 111 周年秋友会関東交流会



【日 時】 7月22日(日) 15:00~19:00

【場 所】 東京ステーションコンファレンス (サビアタワー5階)

※詳細はQRからご覧ください。

報告

東北大学 111 周年 / 関西秋友会 11 周年記念秋友会関西交流会が開催されました



3月4日(日)、ホテルグランヴィア大阪で開催され、230名の参加がありました。講演会では、里見進東北大学総長、東北大

学秋友会長より『創造と変革を先導する指
定国立大学法人へ』、小林正啓花木法律事
務所弁護士より『人工知能・ロボットと法
律—自動運転自動車やロボット技術は、法
と社会をどう変えるのか—』、鈴木岩弓東北
大学高度教養教育・学生支援機構教養教育
院総長特命教授より『memento mori—現
代日本人の死生観—』と題したお話があり
ました。

懇親会では、校友歌、学生歌を合唱し、
交流のひと時を過ごしました。

次回の関西交流会は、2019年3月3日
(日)にホテルグランヴィア大阪で開催を予
定しています。

※肩書きは、開催日のものです。
※詳細はQRからご覧ください。

東京大学同窓会

告知

地域同窓会



群馬銀杏会定例総会

【日 時】 7月7日(土) 12:00~

【場 所】 メトロポリタン高崎

青森県東京大学同窓会総会

【日 時】 7月7日(土) 18:00~

【場 所】 ラ・プラス青い森

岡山東大会総会 60 周年

【日 時】 7月13日(金) 18:00~

【場 所】 ホテルグランヴィア岡山

東海銀杏会 30 周年記念例会 / 講演会 / 懇親会

【開催日】 8月27日(月)

【場 所】 名古屋マリオットアソシアホテル

栃木銀杏会総会

【開催日】 9月初旬(予定)

福岡銀杏会総会

【日 時】 9月8日(土) 17:00~

【場 所】 ホテル日航福岡

奈良東大会総会

【開催日】 9月8日(土)

【場 所】 奈良ホテル(予定)

島根赤門会 5 周年

【日 時】 9月15日(土) 18:00~

【場 所】 松江エクセルホテル東急

【講 師】 国友充範 NHK 松江放送局長
(元東京大学野球部エース)

【演 題】 『未定』

京都東大会

【日 時】 9月27日(木) 18:00~

【場 所】 ホテルグランヴィア京都

埼玉銀杏会総会

【日 時】 9月30日(日) 13:00~

【場 所】 埼玉会館(予定)

【講 師】 梶田隆章東京大学宇宙線研究所
長教授兼同研究所附属宇宙ニュ
ートリノ観測情報融合センター
長(ノーベル物理学賞)

【演 題】 『未定』

関西東大会夏の講演会

【日 時】 8月26日(日)

講演会 15:00~16:30

懇親会 17:00~19:00



【場 所】 ホテルグランヴィア大阪 20 階
【参加費】 8,000 円 (会員の同伴歓迎)
【講 師】 安藤直人 東京大学名誉教授

【演 題】 『やってきた！大規模木造建築
の時代』—木と鉄とコンクリー
トの共創—(仮)

※詳細は QR からご覧ください。

名古屋大学同窓会

告 知

名古屋大学医学部学友会首都圏
総会



【日 時】 7月14日(土) 16:00~
【場 所】 学士会館
【連絡先】 松田達男さん
【MAIL】 matudatatuo@gmail.com
【TEL】 090-9206-0567
※詳細は QR からご覧ください。

名古屋大学数理科学同窓会
飛田武幸先生を偲ぶ会



【日 時】 10月20日(土) 14:00~16:00
【場 所】 レストラン花の木 (名古屋大学
構内)
【参加費】 5,000 円
【連絡先】 飛田武幸先生を偲ぶ会実行委員
会事務局 小崎和子さん
【MAIL】 kozaki@math.nagoya-u.ac.jp
【TEL】 052-789-2833
※詳細は QR からご覧ください。

報 告

名大若鯨会 2017 (第 3 回) が開催
されました

東京(関東)在住の名古屋大学卒業生が
主宰するカジュアル全学同窓会です。2017
年 11 月 20 日、学士会館で開催され、45 名
程の参加がありました。ミニ講演会では橋
本孝之日本アイ・ビー・エム名誉相談役
(名大・工・昭 53 卒) よりお話がありま
した。過去には第 1 回丹羽宇一郎名古屋大
学全学同窓会関東支部長(名大・法・昭 37
卒)、第 2 回奥村彦彦学習院大学名誉教授
(名大・経・昭 39 卒) がお話されました。
facebook「名大若鯨会」にてメンバー申請
受付中で、現在 160 名程が fb 参加中です。
お問合せは、メールで伊藤志織さん(名
大・法・平 6 卒) sito@gakushikai.jp まで。



京都大学同窓会

告 知

第 17 回京都大学若手会年次総
会(講演会)



【日 時】 9月8日(土) 13:00~17:00
【講 師】 山西健一郎 三菱電機(株) 取締役相談役
【演 題】 『リーダーの要件~変化への対
応力強化~』

【場 所】 東京 23 区内 (未定)
【参加費】 4,000 円 ※京大卒満 45 歳以
下若手、賛助会員
6,000 円 ※非京大卒満 45 歳
以下若手、七大若手会賛助会員
総会終了後二次会を予定しています。参
加費 5,000 円 ※全員同一料金
※詳細は QR からご覧ください。

報告

京都大学若手会 5周年記念大会（第16回京都大学若手会交流会）が開催されました



3月24日（土）、東京都江東区民総合区民センターにおいて開催され、68名の参加がありました。

西澤宏繁元企業再生支援機構代表取締役による『「君たちはどう生きるか」をめぐる』と題した基調講演、東京大学奇術研究会によるマジックショー、参加者が相互交流しクリアを目指す、トレジャーハンティングゲーム、懇親会、二次会と、盛り沢山の

企画で、学友達との邂逅に交流のひと時を過ごしました。

※詳細はQRからご覧ください。

第6回京都大学同窓会東京支部連絡会議および第4回交流会が開催されました



4月19日（木）、学士会館で開催され、全21支部中14支部を代表する22名をはじめ、徳賀芳弘京都大学副学長、荒木茂京都大学総長特別補佐らが参加しました。交流会では、親睦を深めるとともに、参加者全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱しました。※詳細はQRからご覧ください。

大阪大学同窓会

告知

大阪大学の集い in 福井



【日時】 8月18日（土）15:00～18:00

【場所】 ザ・グランユアーズフクイ

【講演】 築山桂氏（作家）（阪大・文・平4卒）

【演題】 『未定』

【参加費】 4,000円（大学生は1,000円、高校生以下は無料）

※詳細はQRからご覧ください。

歩で平安神宮に行き、神苑内の満開の紅しだれ桜を鑑賞できました。

全体の同窓会は11月18日（日）～19日（月）に有馬温泉で宿泊・観光が予定されています。

※詳細はQRからご覧ください。

経済学部同窓会「第13期同窓会」が開催されました



4月20日（金）、大阪大学中之島センター7階交流サロンで開催され、18名の参加がありました。

報告

大阪大学薬友会 14期ミニ同窓会が開催されました



4月5日（木）、京都でお花見会が開催され、13名の参加がありました。今年の開花は例年より1週間も早く、花見には遅い日程でしたが、「花より団子」の精神で予定通り行われました。

高瀬川沿いの桜並木道を二条まで散策し、がんこ高瀬川二条苑で京都の和食会席を地酒とともに楽しみ、庭園を多くの外国人観光客に交じって見学しました。二次会は徒

大阪大学薬友会 21期ミニ同窓会が開催されました



4月21日（土）、がんこ堂島アバンザ店にて開催され、19名の参加がありました。

今回は9月29日（土）に東京でミニ同窓会が開催されます。さらに来年は入学後50年となることを記念して、久々の大同窓会を2019年9月28日（土）に大阪大学中之島センターにて開催することを決定しております。

※詳細はQRからご覧ください。

九州大学同窓会

告知

東京九機総会・関西九機総会



平成30年度東京九機総会

【開催日】9月22日(土)

【場所】学士会館(予定)

平成30年度関西九機総会

【開催日】9月21日(金)

【場所】ホテル「ホップイン」アミング
(予定)

※詳細はQRからご覧ください。

報告

九州大学経済学部同窓会東京支部
新卒歓迎会が開催されました



4月7日(土)に開催され、新卒者30名を含む51名の出席がありました。今年のテーマは、「先輩社会人の失敗談から多くを学ぼう」とし、支部長の秦喜秋さん(元三井住友火災海上保険会長、九大・経・昭43卒)から、入社した当時の体験や失敗談などの講演後、新卒者は4つの島に分かれて、先輩の社会経験や失敗談などを聞きました。ビールを飲みながら、約20分話を聞くと、先輩は次の島に移動。新卒者は、先輩たちの様々な体験談を4回に分けて聞くことができ、その後は、いろいろな質問を先輩たちに浴びせていました。

二次会でも質問は続き、新卒者には充実した半日でした。

九州大学法学部東京同窓会新入
会員歓迎会が開催されました



4月24日(火)、九大東京オフィスにて開催され新卒者9名を含む、合計23名の参加がありました。各所にできた話の輪も、同じ世代で固まることなく、新入会員の若さ溢れる明るさに、歓迎する側が元気を頂くような、楽しいひと時となりました。

平成30年度九大農学部同窓会
東京支部総会・懇親会が開催
されました



5月16日(水)、学士会館で開催され、75名(女性:15名、平成卒:35名)の参加がありました。

総会では、活動報告、会計報告、役員選任がありました。続いての懇親会では、各学科の若手と女性参加者より近況報告を行い、交流のひとつを過ごしました。

※詳細はQRからご覧ください。



旧吉田茂邸見学会で発見!!
たまには、「下を向いて歩こう」♡

会員著作物紹介

「ピアニストのチェロ」

ベートーヴェン、リスト、ショパン、サン＝サーンス……ピアニストとして名を馳せた作曲家たちによる、珠玉のチェロ曲を集めたCDです。ウィーン生まれのピアニスト・作曲家、ペーター・バルツァバ氏との共演で、氏が私に捧げてくださった美しい《チェロ・ソナタ》を世界初録音。「ウィーン仕込みの清々しい響きに魅了される」と、『Stereo』誌の特選盤に選出されました。【収録曲】ショパン：チェロ・ソナタ、サン＝サーンス：白鳥 他

(平野玲音 会員 東大・文修・文・平11)

オクタヴィア・レコード



幻冬舎ルネッサンス新社

『楽して飛ばせるゴルフスイングの力学』

本書は従来のスイングである著書『ゴルフの科学』と比較して「円錐振子・直進・法線カスイング」の発明に至った経緯を、前代未聞の科学・原理・体力の力学で示した。またゴルフ界も9年前に著した状況である。新効果は球の飛距離は遠く、真直ぐで、車いすでも可の推察、体力増強である。続編では飛球・ヘッドの動きが飛行機の飛行原理(斜面の力学)と重なる発見を、4年前にS新聞に開示した。2年前にはグリップの特許を登録した。

(兼子建二 会員 東北大・工・昭39)

日本評論社

『ひまわりの黄金比—形の科学への入門—』

「黄金比は美しさの尺度であろうか？」を出発点とした。ひまわりの種に代表される自然界に多くある連なりらせんを入口とし、らせん葉序やそれを司るフィボナッチ数、複雑さ表現としての自己相似性やフラクタル、それらに深く関わる黄金比の謎を探求した。その過程から画像処理、自己相似折り紙、効率的数値積分への具体的な応用が生まれる。それは誰でもいつでも謎解きのできる「かたち科学」への入門になっている。

(根岸利一郎 会員 東大・工博・平10)



『1950-1990年代の希望とロマンの 残照と、それから出た種、種、種』

著者はフラッシュメモリの発明者である舩岡富士雄氏と、DVDの生みの親として知られる山田尚志氏とも大学の同じ講義室で学んできた。北海道、仙台、大阪、広島などを転居した著者の人生は、1950-1990年の時代を反映した希望とロマンに満ちたものであった。それらの体験をエッセイにまとめている。特に、舩岡富士雄氏の研究生生活の記述や卵形曲線の方程式の発見がこの著書の核心的な部分である。別に、英語版著書も用意されてある。

(山本信雄 会員 東北大・工・昭41)



創英社/三省堂書店



光陽出版社

『イスパニア・ロマネスク美術』

中世スペイン・ロマネスク美術の建築・彫刻・絵画の分野を網羅。写真はオールカラー。学術的な深さまで究めようとする意欲作。

巻末にスペイン語のロマネスク美術関連用語集：西語対訳約2000語収録。スペイン文化省のバルタサール・グラシアン基金助成作品。日本図書館協会選定図書。産経新聞書評で紹介。スペインのサント・ドミンゴ・デ・シロス大修道院付属図書館所蔵及び展示販売。

(勝峰昭 会員 阪大・文・昭31)



『万葉集から大化の改新と 明治維新の心を探る』

日本人の精神構造と文化は国際的に見て、大変特徴ある独特なものではないかと感じています。その根拠を日本人の歴史から読み解くことは、意義深い味わいのあるものであろう。

岩倉使節団の行動、精神構造を長年研究して、今後の日本の将来をどのように展望すべきかを考えてきた著者は、万葉集の精神と使節団の偉人たちの心を振り返ってみたいと考えた次第です。

(西井易穂 会員 (筆名：育夢教意) 阪大・薬修・薬・昭33)

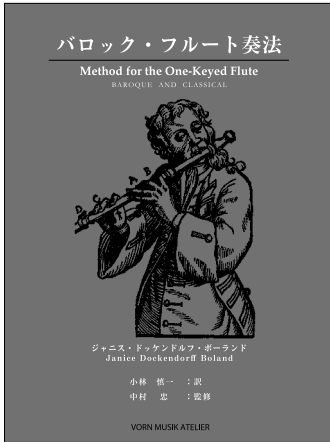
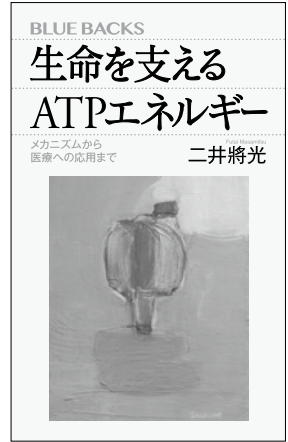
ブックウェイ



『生命を支える ATP エネルギー メカニズムから医療への応用まで』

生物はエネルギーをどのようにして作り、どう使っているか？この疑問を太陽光から解き始め、分子／細胞／生物のレベルから考えていきます。エネルギー物質を作る生物機械／エネルギーを使う酵素／タンパク質、そして細胞内器官が登場します。体内でメカニズムが破綻すると、遺伝病や骨粗鬆症、胃潰瘍、感染症など様々な病気になります。多くの研究によって明らかになったメカニズムは壮大なドラマです。

(二井將光 会員 東大・薬博・薬・昭39)



『バロック・フルート奏法』 Janice Dockendorff Boland (著)

本書はジャニス・ボーランドによるバロック・フルートの名教則本の日本語版。原著の本文、楽譜、図版を全て含み、著者による改訂を加え、日本語版への序文も収録した完訳版である。著者はバロック・フルートの音作りを、(1)バロック・フルートの性格、(2)現代のバロック・フルート奏者の演奏、(3)18世紀の教則本、(4)実際に試してみることに、という4つのアプローチで考え、本書もそれに沿った内容となっている。

(訳：小林慎一 会員 東北大・理・昭48)

フォロン ミュージックアトリエ

並紀書房

『テロリズムと現代の安全保障 テロ対策と民主主義』

テロリズムを理論と実務の両面から体系的に論じた著作である。テロ対策で最も気を付けるべきことは過剰反応に陥らないことであり、民主主義国が基本的価値を守ることの重要性を力説している。また、警察と軍事組織(自衛隊)との関係や、今後のテロ対策について、明快な主張が展開されている。関係者の間では、「迷ったらこの本を繰り返して読め」という一冊を日本人は手にすることができた」と評価されている。

(片山善雄 会員 阪大・法修・法・昭55)



会員活動報告

学士会探秀会 総会と見学会の開催

学士会の同好会のひとつである探秀会は、第10回見学会として昨年12月22日(金)に築地の朝日新聞東京本社に赴きました。ニュースに追われる編集部門の繁忙ぶりや印刷工場の規模の大きさが印象的でした。参加者は計21名でした。

本年1月27日(土)には、学士会館で出席会員22名により定時総会・懇親会を開催し、活動報告・決算報告などのほか、東京学芸大学名誉教授 大沢真澄氏による講演(「文化財科学研究の発展」)を実施しました。その後、紅樓夢で昼食会を行い、会員相互の親睦を図りました。

次いで、第11回見学会として4月5日(木)に狭山市にある広大なホンダ狭山工場に赴き、高度に合理化された自動車の製造工程をつぶさに見学しました。参加者は計25名でした。

さらに、第12回見学会としては、6月7日(木)に市ヶ谷の防衛省関係施設の見学を予定し目下(5月上旬現在)準備中です。入会のご相談は学士会会員支援課まで(平日9:00-17:00 03-3292-5932)。

(川口順啓 会員 東大・法・昭32)



総会後の懇親会にて

会員通信

原稿募集のご案内

会員通信の原稿を募集しています。たくさんのご投稿をお待ちしています。

会員著作物紹介	会員ギャラリー	会員活動報告	会員の声
(『NU7』・学士会館展示連動企画) 著作名・著作者・紹介文(200字以内)・著作物表紙写真をお送りください。	絵画・生け花・陶器などの作品写真をお送りください(最大3点まで)。	会員同士の交流やイベントの報告内容(200字以内)・写真(1~2点)をお送りください。	テーマは自由、800字以内(写真掲載希望の場合、写真は1点・600字以内)にまとめて、お送りください。

投稿にあたって

氏名・会員番号(又は、出身大学・学部・卒年)を明記の上、広報渉外課までメールにてお送りください。

送付先
koho@gakushikai.or.jp

※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。
※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。
※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。
※原稿(データを含む)は原則として返却いたしません。
※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。
※会員通信の著作権は、本会に帰属します。
※詳細は、お問い合わせください。

告知

学士会主催



夕食会・午餐会 (2018年
7月～9月)

[場所] 学士会館

[参加費] 4,000円(講演のみ2,000円)

◎夕食会 (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

7月10日(火) 藤本 隆宏氏

(東京大学大学院経済学研究科教授
/東京大学ものづくり経営研究センター センター長)

「デジタル化時代における日本のものづくり」

1979年東京大学経済学部卒業。1989年ハーバード大学ビジネススクール博士課程修了。東京大学経済学部助教授、東京大学大学院経済学研究科助教授を経て、1998年東京大学大学院経済学研究科教授。2004年東京大学ものづくり経営研究センター センター長。

8月は休会です。

9月10日(月) 高橋 淳氏 (京都大学IPS細胞研究所 臨床応用研究部門 教授)

「iPS細胞を用いたパーキンソン病治療」

1986年京都大学医学部卒業。1993年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。米国ソーク研究所ポスドク研究員、京都大学医学研究科脳神経外科講師等を経て、2007年京都大学再生医科学研究所生体修復応用分野准教授。2012年教授。2018年日本再生医療学会賞(臨床部門)。

◎午餐会 (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

7月20日(金) 海保 邦夫氏 (東北大学大学院理学研究科教授)

「恐竜絶滅の経緯」

1977年東北大学理学部卒業。1979年東北大学大学院理学研究科修士課程修了。1983年東北大学から理学博士の学位授与。スタンフォード大学客員研究員、東北大学助手、助教授などを経て、1998年より現職。2017年有機地球化学賞(学術賞)。

8月は休会です。

9月20日(木) 熊谷 亮丸氏 (株式会社大和総研 常務取締役 調査本部副本部長
チーフエコノミスト)

「リーマン・ショック10年

～グローバル経済・金融市場はどこに向かうのか?」

1989年東京大学法学部卒業。1993年東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。日本興業銀行などを経て、2007年株式会社大和総研シニアエコノミスト。2014年執行役員チーフエコノミスト。2016年ハーバード大学経営大学院AMP(上級マネジメントプログラム)修了。2017年常務執行役員調査本部副本部長 チーフエコノミスト。2018年より現職。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL:03-3292-5955(平日9:00～17:00) MAIL:koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知



『學士會會報』931号(2018年7月発行)のご案内

2018年7月1日発行の『學士會會報』931号は、下記の内容を掲載しています。
※編集の都合により、内容が変更になる場合があります。

■講演録■

「二・二六事件における一般兵士—大衆軍隊の出現の意味」(2月午餐会)

三谷 太一郎氏(東京大学名誉教授)

「じっくりこない日本語」(3月午餐会)

北原 保雄氏(筑波大学名誉教授・元学長、新潟産業大学前学長)

「食の進化と共生」(2月夕食会)

山極 壽一氏(京都大学総長)

「『しんかい6500』の世界」(3月夕食会)

大西 琢磨氏(「しんかい6500」チーム 潜航長)

■随想■

「～随想～蔵書と読書」

吉川 忠夫氏(京都大学名誉教授)

告知



学生会主催

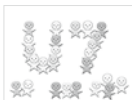
ウェルカムビアパーティー

[場 所] 学生会館
18:00～20:00 [参加費] 5,000円※

2018年7月21日(土)

新卒正会員をご招待し、45歳以下の若手会員限定で開催される本パーティーは、会員有志が企画・進行を担当します。

ビールを飲める方も飲めない方も、楽しく騒いで夏の暑さを吹き飛ばしましょう！(※新卒正会員 無料/正会員 5,000円/準会員・正会員同伴 6,000円)



詳細は、学生会公式サイトまたは会員支援課まで。

T E L:03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL:contact@gakushikai.or.jp

告知



学生会主催

「気象予報士のやさしいお天気実験 ～目指せ！お天気博士～」

10:00～ [場 所] 学生会館
12:00 [参加費] 大人1,000円 子供500円

2018年8月5日(日)

どうして？なぜ？雨がふったり、カミナリがなったりするんだろう・・・？
雲や気圧の仕組みなどお天気の不思議を感じながら、楽しく、気軽に、親子で一緒にお天気サイエンスしてみませんか？

詳細は、学生会公式サイトまたは事業課まで。

T E L:03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL:jigyou@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



「座禅体験会」

13:30～座禅と法話(抹茶・お菓子付き)
15:00～庭園拝観

[場 所] 妙心寺退蔵院
[参加費] 2,500円

2018年9月8日(土)

京都の西に位置する妙心寺の山内には40余りの塔頭がありますが、退蔵院はそのうちでも屈指の古刹として有名です。その妙心寺退蔵院で、「座禅体験会」を開催することになりました。

座禅体験の他、第5回関西茶話会(2011年6月)で講師を務められた松山大耕氏(副住職)による法話や、庭園も心ゆくまでご覧いただけます。

日頃の喧騒を忘れて、心と体を静かに落ち着かせてみませんか?

お問合せは、学士会関西事務所まで。

T E L:075-771-1191(土日月祝を除く10:00～16:00)

MAIL:kansai-info@gakushikai.or.jp

学士会主催



「国立科学博物館筑波研究施設 お宝見学会(仮)」

13:30～

15:00(予定)[参加費]未定

[場 所] 国立科学博物館
筑波研究施設

2018年9月22日(土)

様々な事情により展示をしていない国立科学博物館の貴重な収蔵品を、篠田謙一副館長はじめ、専門家の解説付きで特別見学いたします。

詳細は8月1日(水)より、学士会公式サイトに掲載予定です。

お問合せは、事業課まで。

T E L:03-3292-5955(平日9:00～17:00)

MAIL:jigyuu@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



若手茶話会(ドカフェ・読書会・ミニプレゼン会)

[場 所] 学士会館
[参加費] 1,000円※

2018年7月28日(土) / 8月26日(日) / 9月29日(土)

(8月はランチ会)



毎月原則最終土曜日に開催する若手向けの茶話会。参加者43才以下の若手会員に限定した少人数制の“カタリバ”として「ドカフェ」「読書会」「ランチ会」などの交流会や、同世代のメンバーの仕事や趣味などの知識をプレゼンターとして披露する“マナビバ”として「ミニプレゼン会」を開催しています。

詳細は、学士会公式サイトまたは会員支援課まで。

T E L:03-3292-5932(平日9:00～17:00)

MAIL:contact@gakushikai.or.jp

※ドカフェ1,000円、読書会500円、ミニプレゼン会無料



学士会主催

「旧吉田茂邸見学会」開催報告

[場 所] 大磯城山公園
旧吉田茂邸地区

2018年4月8日(日) 10:30~12:00

昨年3月に再建された旧吉田茂邸において、要人向けに使用していた部屋やプライベート空間、日頃散歩していた場所などを、ガイドの詳しい説明と共に、約1時間30分かけて巡りました。

邸内には、2018年3月31日に自民党から寄贈されたばかりという肖像画や、首相官邸とのホットラインとして使用されていた黒電話、直筆の書など、貴重な品々が数多く展示されていました。



寄贈された吉田茂肖像画



庭園も見学



旧吉田茂邸(外観)



学士会主催

「第31回関西茶話会」開催報告

[場 所] 京都大学楽友会館

2018年4月14日(土) 森島 邦博氏 (名古屋大学高等研究院特任助教)

「宇宙線イメージングによるクフ王のピラミッド内部の新空間の発見」



素粒子“ミューオン”の特性を利用した新しい技術“宇宙線イメージング”を使い、2017年にクフ王のピラミッド内部に新空間を発見した森島先生に、ご講演いただきました。



学士会主催

「野球殿堂博物館見学会」開催報告

[場 所] 野球殿堂博物館

2018年5月9日(水) 10:30~12:00

学士会館にある「日本野球発祥の地碑」は、学士会が野球殿堂博物館と一緒に建立したという経緯があります。その博物館で開催されていた特別展「昭和、平成と長嶋茂雄展」を、学芸員の説明で見学しました。

実際に展示をプロデュースした本人だからこそ語れる逸話・秘話の数々に参加者達はすっかり昔に戻った様子で、展示されていたユニフォームや写真、映像に見入っていました。



報告 学生会主催



「親子で学ぶ“お金”の教育」開催報告

[場 所] 学生会館

2018年5月13日(日) 10:30～12:00

“世界のお金”と“為替”について、ワークショップを交えて、楽しく学びました。

ワークショップでは、初めてみる世界のお金と、日本のお金の特徴と違いについて、実際のお札をみて、触って、親子で一緒に、レポートを作成しました。



講師の質問に勢いよく手を挙げる子供たち

親子で世界のお札を観察

報告 学生会主催



「第18回女性会」開催報告

[場 所] 学生会館

2018年5月26日(土) 10:00～13:00(ランチ時間含む)

「シリーズ“氣”について学ぶ・第2回 漢方・薬膳茶ブレンド体験」

東洋医学からのアプローチで健康を目指す企画の第2回目は、身体を構成する三つの要素「気」「水」「血」についての働きを学びました。

ブレンド体験では、まず、自分の今の状態を問診や舌の状態を確認しながら把握します。次に、それを改善する“力”をもつ薬膳素材を使い、自分の身体にあった薬膳茶をブレンドしました。



講師の小林香里氏



講義の様子



薬膳茶のブレンド体験

案内

『學士會会報』デジタルアーカイブ公開中！



4月より公開を開始した『學士會会報』デジタルアーカイブですが、現在は創刊号(明治20年2月発行)～400号(大正10年6月発行)までの『學士會月報』の本文を、学生会会員交流サイト「謝恩の情」・会報目次検索データベースにて、公開中です(正会員のみ)。学生会の根幹ともいえる『學士會月報』を、ぜひご覧ください。

右記QRコードからご覧いただけます。

※ログインID/パスワードは、会員番号9桁の数字です。



詳細は、広報渉外課まで。

T E L:03-3292-5950(平日9:00～17:00) MAIL:koho@gakushikai.or.jp



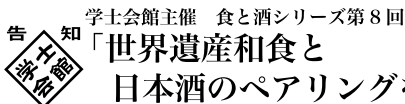
「学士会館ビアホール」開幕!

[場 所] 学士会館 201 号室

2018年7月2日(月)～8月31日(金) ※土日祝・8/13～8/16 休
17:00～21:30 (最終受付 20:00)

今年もやります「ダブル肉フェスタ」。生ビールは「アサヒドライブレミアム豊饒」など3種類をサーバーでご用意、今年新登場の「フリージングハイボール」も飲み放題です。会員特典「ハッピーアワー」もごございます!

詳細は、本誌45頁をご覧ください。



学士会館主催 食と酒シリーズ第8回

「世界遺産和食と 日本酒のペアリングを楽しむ会」

[場 所] 学士会館
「旬菜寿司割烹 二色」

2018年7月12日(木) 18:30～(受付開始 18:00)

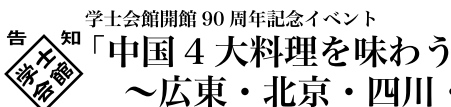
「世界遺産“和食”と日本酒のペアリングを楽しむ会 新潟編」

【お酒】「越後鶴亀」(新潟県「株」越後鶴亀)【定員】18名

【料金】特別価格13,000円(税・サ込)

申込・詳細は、「旬菜寿司割烹 二色」まで。

TEL: 03-3292-3960



学士会館開館90周年記念イベント

「中国4大料理を味わう ～広東・北京・四川・上海～」

[場 所] 学士会館
「中国料理 紅樓夢」

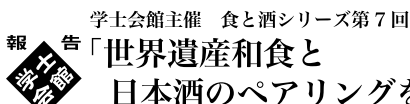
2018年8月21日(火) 18:30～(受付開始 18:00)

「中国4大料理を味わう～広東・北京・四川・上海～ 第3回」

【料理】四川料理(料理と日本酒(大七・飛良泉・神亀)のペアリング)

【料金】15,000円(税・サ込)

詳細・ご予約は、「中国料理 紅樓夢」まで。 TEL: 03-3292-0880



学士会館主催 食と酒シリーズ第7回

「世界遺産和食と 日本酒のペアリングを楽しむ会」

[場 所] 学士会館
「旬菜寿司割烹 二色」

2018年5月15日(火) 18:30～21:00



学士会館が提案する食と酒シリーズの第7回目は、群馬県で明治19年に創業した永井酒造の銘酒「水芭蕉」と和食のペアリングを楽しみました。

当日は、永井酒造株式会社社長の永井則吉氏をお迎えし、お話もいただきました。



七大学書籍ランキング

BEST 5

期間：2018年5月1日～2018年5月31日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 憲法の良識	長谷部恭男	朝日新聞出版
	2 未来の年表 2	河合雅司	講談社
	3 国体論	白井聡	集英社
	4 ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード	小路幸也	集英社
	5 数学する身体	森田真生	新潮社
一般書	1 人口減少社会の未来学	内田樹（編）	文藝春秋
	2 青くて痛くて脆い	住野よる	KADOKAWA
	3 東大生が書いた 問題を解く力を鍛えるケース問題ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	4 花は泡、そこにたって会いたいよ 新鋭短歌シリーズ 37	初谷もい	書肆侃侃房
	5 あやかし草紙	宮部みゆき	KADOKAWA

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 火星に住むつもりかい？	伊坂幸太郎	光文社
	2 初学者のための 中国古典文献入門	坂出祥伸	筑摩書房
	3 恋文の技術	森見登美彦	ポプラ社
	4 日本の公教育	中澤渉	中央公論新社
	5 データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社
一般書	1 会社法	伊藤靖史／大杉謙一／田中巨／松井秀征	有斐閣
	2 憲法9条へのカタバシス	木庭顕	みすず書房
	3 かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社
	4 現代思想 2018年6月臨時増刊号	青土社（編）	青土社
	5 詳論 文化人類学	桑山敬己／綾部真雄	ミネルヴァ書房

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 東大教授が挑む AIに「善悪の判断」を教える方法	鄭雄一	扶桑社
	2 データサイエンス入門	竹村彰通	岩波書店
	3 近代日本一五〇年	山本義隆	岩波書店
	4 東大生となった君へ	田坂広志	光文社
	5 承認をめぐる病	斎藤環	筑摩書房
一般書	1 大学4年間のマーケティングが10時間でざっと学べる	阿部誠	KADOKAWA
	2 前処理大全	本橋智光	技術評論社
	3 大学4年間のデータサイエンスが10時間でざっと学べる	久野遼平／木脇太一	KADOKAWA
	4 scikit-learn と TensorFlow による実践機械学習	オーレリアン・ジュロン	オライリー・ジャパン
	5 公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本 2019年度版	大賀英徳	実務教育出版

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
	2 集中力ははらない	森博嗣	SBクリエイティブ
	3 玉依姫	阿部智里	文藝春秋
	4 ラプラスの魔女	東野圭吾	KADOKAWA
	5 読書の価値	森博嗣	NHK 出版
一般書	1 AI vs. 教科書が読めない子どもたち	新井紀子	東洋経済新報社
	2 地図で楽しむすごい愛知	都道府県研究会	洋泉社
	3 改訂新版 ロボットは東大に入れるか	新井紀子	新曜社
	4 ゴリラからの警告「人間社会、ここがおかしい」	山極寿一	毎日新聞出版
	5 スタンフォードの自分を変える教室	ケリー・マクゴニガル	大和書房

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 玉依姫	阿部智里	文藝春秋
	2 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	3 集中力ははらない	森博嗣	SBクリエイティブ
	4 羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
	5 国体論	白井聡	集英社
一般書	1 東大生が書いた 問題を解く力を鍛えるケース問題ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	2 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	3 現役東大生が書いた 地頭を鍛えるフェルミ推定ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	4 平成 29 年度版 (2018 年対策) 趣旨・規範ハンドブック③刑事系	辰巳法律研究所	辰巳法律研究所
	5 滋賀県発! 持続可能社会への挑戦	内藤正明/嘉田由紀子 (編)	昭和堂

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 生命とは何か	エルヴィン・シュレーディンガー	岩波書店
	2 宇宙を織りなすもの (上)	ブライアン・グリーン	草思社
	3 宇宙を織りなすもの (下)	ブライアン・グリーン	草思社
	4 羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
	5 ラプラスの魔女	東野圭吾	KADOKAWA
一般書	1 10年後の仕事図鑑	堀江貴文/落合陽一	SBクリエイティブ
	2 数学ガール/ポアンカレ予想	結城浩	SBクリエイティブ
	3 一億人の英文法	大西泰斗/ポール・マクベイ	ナガセ
	4 みんなのPython 第4版	柴田淳	SBクリエイティブ
	5 戦争と性暴力の比較史へ向けて	上野千鶴子/蘭信三/平井和子 (編)	岩波書店

九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ヴァルヘルム 2 世	竹中亨	中央公論新社
	2 欧州ポピュリズム	庄司克宏	筑摩書房
	3 遺伝人類学入門	太田博樹	筑摩書房
	4 ジョン・ロック	加藤節	岩波書店
	5 読書の価値	森博嗣	NHK 出版
一般書	1 憲法9条へのカタバシス	木庭顕	みすず書房
	2 いかにして民主主義は失われていくのか	ウェンディ・ブラウン	みすず書房
	3 大正=歴史の踊り場とは何か	鷲田清一/佐々木幹郎/山室信一/渡辺裕	講談社
	4 書物の文化史	加藤好郎/木島史雄/山本昭 (編)	丸善出版
	5 行政学叢書 11 公務員制	西尾隆	東京大学出版会

立川らく朝さんという落語家がいる。落語界唯一の医師にしてプロの噺家として独自の高座を展開している。演目は「寄席外来」「合コン老人会」など。「寄席外来」では見事な紙切りまで披露してくれる。笑いが健康によいことは医学的にも証明されており、免疫機能を正常にし、血圧や血糖値を下げるなどの効果がある。北海道生まれの私であるが、かつての上司が京都の人で波長が合ったせいか、関西（京都と大阪をひとくくりにはいけない？）の言葉と笑いが好きで、「日本笑い学会」（事務局大阪）のメルマガを購読している。年1回大会があり、今年は関西大学堺キャンパスで7月14日、15日に行われる。14日は京大総長の山極先生の「ゴリラから見た笑いの進化とAI社会」、15日はシンポジウムがあり、テーマは「笑いと超高齢社会～笑って介護、笑って終活」。興味のある方はお出かけください。東京でもやってくれると嬉しい。

（編集委員：佐藤千恵子）

日本人の「働き方改革」には「遊び方改革」が必要ではないか？よい子を育てるには「よく学び、よく遊べ」だが、大人には「よく働け、よく遊べ」である。ワークライフバランスの先進国、北欧では皆よく戸外で遊ぶ。森の散策は日常的な楽しみだ。5週間の夏休み、10月に秋休み、12月にクリスマス休暇、2月にスキー休暇、4月にイースター祭り、6月に夏至祭り、そうして長い夏休みが始まる。すべて1週間以上の連休で、家族や友とアウトドアを楽しむ。こんなに休んでばかりいるようで子供の学習能力は世界的に高いし、労働生産性も北欧4か国とも上位10位内にランクされている。日本は先進国最下位の14位だ。スウェーデンでは、夕方5時以降オフィスに残っている人はほぼいない。皆4時ころには飛んで帰り、家族や恋人と夕方からの時間を家で楽しむ。長時間労働の後、疲れはて、「風呂、メシ、テレビ、寝る」だけの生活ではない。真の働き方改革は、家族や友や自分を大切に、健全に遊ぶことにある。

（編集委員：田村恵美子）

NU7 第18号

2018年 7月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL：03-3292-5950

FAX：03-3292-2779

homepage：http://www.gakushikai.or.jp/

e-mail：koho@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷

『NU7』では、表紙写真を学士会会員・七大学学生の皆様から募集しています。ご自慢の作品を、学士会広報渉外課 (koho@gakushikai.or.jp) までお送りください。

会員通信

会員ギャラリー



高山植物園（八甲田山）

（西村公宏 会員 東北大・工博・平 18）

開館後の繁栄と苦悩

S3.5.20

「学士会館」開館

大阪帝国大学設立



創立 50 周年記念の額皿

学士会創立 50 周年
盧溝橋事件

名古屋帝国大学設立
太平洋戦争突入

会館には ゴルフ練習場があった！

昭和 4 年 11 月に会館の東北隅にゴルフ練習場（インドア・45 坪）が作られたという記録があります。その後、赤羽の荒川河畔に約 10 万坪の練習コースも建設されました。（昭和 19 年に、赤羽の土地は返還）

『學士會月報』休刊・・・

用紙割当減少の中において、昭和 17 年、18 年は何とかな年 2・3 回発行していた『學士會月報』ですが、昭和 19 年 2 月をもって休刊を余儀なくされました・・・。



終戦

S6.

S8.7 中型集会室（203 号室）増設

S10.9 学士会創立 50 周年記念事業として「会館増築」計画が決定

S11.2 第十四師団東京警備隊司令部として使用される（202 号室・3 階 4 室・宿泊室 5 室）

S11.4 会館増築工事・地鎮祭

S11.7

S12.7

S12.9

9.20
学士会館新館オープン

S14.

S16.12

S18. 屋上に高射機関銃座が設置される

S18.12 電力規制により、閉館時刻の繰り上げ、日曜日休館（宿泊除く）

金属回収令により、暖房放熱器・大 lantern・シャンデリアなどの金属製品を供出（洋食器は免れる）

S19.3 会館での食事提供が不可となる
→4 月に再開

S20.2 神田一帯の空襲により、学士会館被災
会館東側外面タイル数箇所広範囲の脱落、同側面窓ガラスの大部分破損、カーテン類損傷、旧館 2 階東南角予備室の類焼

S20.3 被災した中央気象台に、1 階西側談話室・201 号室・広間・202 号室を提供
その後、東部軍第百部隊気象班や文部省高官（大臣含む）等にも部屋を提供

S20.8



オープン時の新館玄関

終戦後、「学士会館」はさらなる受難へ・・・

2018

開館 90 周年記念イベント



学士会館 ビアホール

Beer Hall

GAKUSHIKAIKAN BEER HALL

90分
食べ放題&飲み放題
5,000円(税込)

SPECIAL MENU

★ダブル肉フェスタ★

Sirloin Steak & Roast Beef

サーロインステーキ

ローストビーフ



◆毎日、鉄板焼きステーキが食べ放題!

◆7/2(月)~7/6(金)・7/17(火)と毎週月曜日にローストビーフが食べ放題!



◆伝統の西洋料理の数々!
◆中国料理と日本料理の共演!



◆大地の恵み、新鮮野菜!
◆デザートも見逃せません!

※写真は全てイメージです。

2018 7.2 (Mon) → 8.31 (Fri)

17:00-21:30 (最終受付20:00)

※期間中は混み合う場合がございますので、お早めにご予約ください。
※8/13~8/16・土日祝はお休みです。

第2回盛り付けコンクールを開催いたします! 開催日時等の詳細はHPまで。

SUPER
"DRY"
DRY PREMIUM
Quality Beer
BREWED USING SELECT INGREDIENTS

学士会会員限定
「ハッピーアワー」

17:00~18:30 (17:00開始に限る)

学士会会員特別価格
4,000円(税込)

同伴の方も全員が特別価格となります。

※開始時間が遅れましても、18:30終了となりますのでご了承ください。
※詳細はお問い合わせください。

プレミアムビールが飲み放題!

ワイン・ウイスキー・カクテル・サワーなどもお好みで!

学士会館

ご予約・
お問合せ

TEL 03-3292-5936

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

<https://www.gakushikaikan.co.jp/special/beerhall2018/>

学士会の紹介

学士会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約 5 万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治 19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。130 年以上の歴史を持つ学士会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学士会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。
※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

会費

入会金なし、年会費 4,000 円

※学部卒業後 2 年間は 3,000 円（学士会事業年度は 4 月 1 日～翌 3 月 31 日）。
※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。



主な会員サービス

最新情報をお届けする学士会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



『學士會会報』の発行

明治 20（1887）年より今まで続いている『學士會会報』は、年 6 回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

931 号（2018 年 7 月発行）は、山極壽一氏（2 月夕食会講師）の講演録を掲載しています。



講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「親子対象」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

9 月夕食会には、京都大学 iPS 細胞研究所教授・高橋淳厚を講師にお迎えします。



企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパナレッジ」の割引利用も大人気です！



「学士会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学士会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

学士会館・良縁倶楽部は、学士会正会員・準会員や、その家族の“良縁”をサポートしています。

入会をご希望の方は、学士会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学士会



入会に関するお問い合わせは会員企画課まで /03-3292-5933（平日 9 時～17 時）

